

前菜は「世界の笑顔」

水谷さんは「笑顔は世界共通のコミュニケーション」をテーマにした写真展「メリー・プロジェクト」に取り組む社会派クリエーターとして知られ、同時多発テロ後のニューヨークや五輪開催時の北京でも活動。2001年には震災復興支援に感謝する「メリー・イン・神戸(神戸新聞社後援)」を開いている。

一方、本山さんはフランス料理の修業後、東南アジアや欧州、中近東や北アフリカなどを巡って一般家庭やレストランで地元の味を教わり、04年に東灘区で出店。水谷さんの活動を知って「料理と写真で手段は違つけど思いは同じ」と感動し、「店に写真を飾りたい」と手紙を出すと、本人から連絡があり、電話で意気投合しパネルを借りることができた。

店のメニューはベトナムの生春巻きやトルコのシシカバブなど日本でもなじみがあるものか

無国籍料理店に子ども写真118枚

東灘区本山中町3の無国籍料理店「パレルモ」の店内に11日、世界中の子どもたちの笑顔の写真118枚が張り出された。世界約30カ国を旅して腕を磨いたオーナーシェフ本山尚義さん(44)が、世界的に活躍するアートデ

カメラマンと多文化共生アピール

ら、ポルトガルの干しタラ入りコロッケ「バカリャオ」やネパールの蒸しギョーザ「モモ」など多種多様。本山さんは「対立する国の人と同じテーブルを囲む世界を願ってフライパンを振



笑顔でいっぱい店内。「ごちそうでみんなを幸せにしたい」と意気込む本山さん＝東灘区本山中町3

神戸新聞

発行所
神戸新聞社

郵便番号 650-8571
神戸市中央区東川崎町
1-5-7

<http://www.kobe-np.co.jp/>

電話 (078) 362局
社会部 7040 映像写真部 7047
経済部 7094 販売局 7066
運動部 7095 営業局 7081
文化 7044 地域 7086
生活部 7045 活動局

ご意見ご質問は読者センター

078・362・7056
(月～土 10:00～17:30)

東灘区

イレクター水谷孝次さんと意気投合しパネルを借りた。本山さんは「笑顔に囲まれて各国の料理を楽しみ、文化や人に関心を持ってもらえればうれしい」と話す。

(直江 純)